

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[WLC のプライマリおよびバックアップ イメージ](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、ワイヤレス LAN コントローラ (WLC) のバックアップ イメージの使用方法について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- WLC と Lightweight アクセス ポイント (LAP) の基本動作のための設定方法に関する知識
- Lightweight アクセス ポイント プロトコル (LWAPP) に関する基礎知識

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- ファームウェア 5.0 が稼働する Cisco 2000/2100/4400 シリーズの WLC
- LWAPP ベースのアクセス ポイント、シリーズ 1230、1240、1130、1250、1140、および 1500

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

WLC のプライマリおよびバックアップ イメージ

WLC では、デフォルトで 2 つのイメージが維持されています。プライマリ イメージとバックアップ イメージがこの 2 つのイメージです。プライマリ イメージは WLC で使用されるアクティ

ブなイメージで、バックアップ イメージはアクティブなイメージに対するバックアップとして使用されます。

コントローラのブートローダ (ppcboot) には、アクティブなプライマリ イメージとバックアップ イメージのコピーが保存されています。プライマリ イメージが破損した場合は、バックアップ イメージを使用してブートローダを起動させることができます。

アクティブなイメージは、2 つの方法で変更できます。

WLC に有効なバックアップのイメージがある場合は、コントローラをリブートします。WLC のブート プロセス中に、**Esc** キーを押して追加オプションを表示します。

次に出力の例を示します。

```
Initializing memory. Please wait. 256 MB SDRAM detectedBIOS Version: SM 02.00BIOS Build date:
09/17/02System Now Booting ...Booting from disk..., please wait.Cisco Bootloader Loading
stage2... Cisco Bootloader (Version 3.2.116.21) .o88b. d888888b .d8888.
.o88b. .d88b. d8P Y8 `88' 88' YP d8P Y8 .8P Y8.
8P 88 `8bo. 8P 88 88 8b 88 `Y8b. 8b
88 88 Y8b d8 .88. db 8D Y8b d8 `8b d8'
`Y88P' Y888888P `8888Y' `Y88P' `Y88P'Booting Primary Image...Press <ESC> now for additional
boot options... Boot OptionsPlease choose an option from below: 1. Run primary image (Version
3.2.116.21) (active) 2. Run backup image (Version 3.2.116.21) 3. Manually upgrade primary image
4. Change active boot image 5. Clear Configuration
```

[Option 4: Change Active Boot Image] をブート メニューから選択して、バックアップ イメージをアクティブ ブート イメージとして設定します。これで、コントローラがリセットされると、新しいアクティブなイメージでブートされます。

また、**config boot <primary/backup>** コマンドを使用して、WLC のアクティブ ブート イメージを手動で変更することもできます。

構文の説明

config boot	Configure boot option.
{primary backup}	Set the primary image or backup image as active.

各 Cisco WLC は、プライマリの、最後にロードされた OS のイメージからブートするか、バックアップの、以前にロードされた OS のイメージからブートすることができます。Cisco WLC のブート オプションを変更するには、**config boot** コマンドを実行します。デフォルトでは、コントローラのプライマリ イメージが、アクティブなイメージとして選択されます。

例

```
> config boot primary> config boot backup
```

WLC GUI を使用してブート順を設定するには、次の手順を実行します。

1. WLC GUI で、[Commands] ページに移動します。
2. 左側の [Commands] で [Config Boot] をクリックします。[Config Boot Image] ページが表示



されます。

このページには、コントローラで現在使用で

- きるプライマリおよびバックアップ イメージと、アクティブなイメージが表示されます。
3. アクティブなイメージを変更するには、目的のイメージをイメージのドロップダウンメニューで選択し、[Apply] をクリックします。



この例では、[Backup] が選択されています。

4. 設定を保存してリポートします。

WLC がリポートされ、再び稼働するときは、バックアップ イメージでブートされます。

新しいイメージで WLC をアップグレードすると、WLC は自動的に、新しいイメージをプライマリ イメージとして書き込み、既存のプライマリ イメージでバックアップ イメージが上書きされます。

注既存のバックアップ イメージは消去されます。

コントローラで現在稼働しているアクティブなイメージを確認するには、WLC GUI で [Monitor] をクリックし、コントローラ GUI の [Controller Summary] にある [Software Version] フィールドを調べます。CLI では、`show boot` コマンドを実行すると、WLC にあるプライマリおよびバックアップ イメージを確認できます。次に例を示します。

```
(Cisco Controller) >show bootPrimary Boot Image..... 4.0.179.8Backup  
Boot Image..... 4.0.206.0 (active)
```

WLC でイメージの削除や上書きを行うには、保存しておくイメージで WLC をブートアップして、アップグレードを実行します。この方法では、新しいイメージによりプライマリ イメージが置き換えられます。

関連情報

- [ワイヤレス LAN コントローラ モジュール \(WLCM \) とワイヤレス サービス モジュール \(WISM \) 用のパスワード回復手順](#)
- [Cisco ワイヤレス LAN コントローラ コンフィギュレーション ガイド、リリース 5.2](#)
- [Wireless LAN Controller と Lightweight アクセス ポイントの基本設定例](#)
- [ワイヤレスに関するサポート ページ](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)